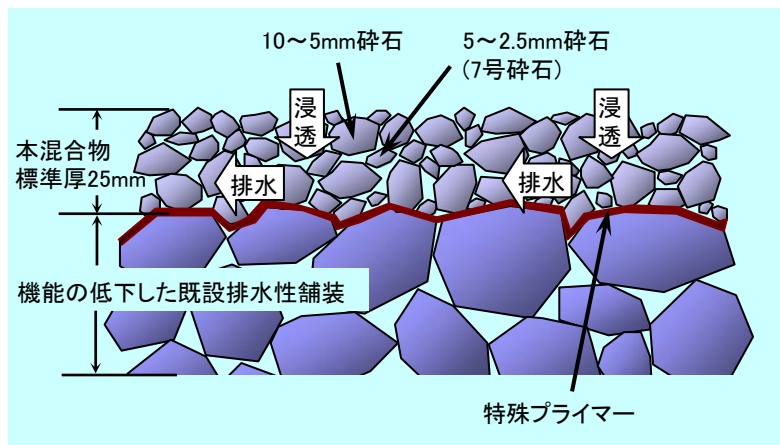


# 薄層ドレーンミックス工法



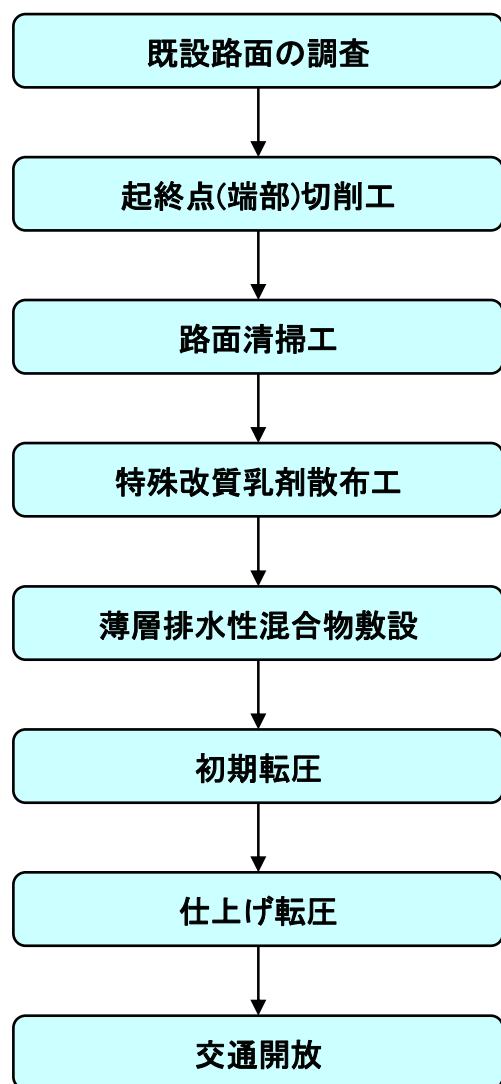
薄層ドレーンミックス工法は、既設排水性舗装の表面に特殊な配合の小粒径排水性舗装をオーバーレイする工法で、機能の低下した路面のリニューアルが比較的安価に行えます。



## 特長

- 特殊な骨材配合と接着層により、耐久性の高い排水性舗装が構築できます。
- オーバーレイ工法であるため従来の切削オーバーレイ工法の約60%の施工費で機能の低下した排水性舗装をリニューアルできます。
- 切削工程を省略できるため、工期短縮・施工時の沿道環境の改善に寄与します。

## 標準的な施工フロー



- ひび割れ率、わだち掘れ量測定  
(ひび割れもしくはわだちが多発している箇所には、本工法の適用は難しい)

- 基本的に工区の起終点(および舗装端部)は、早期の骨材飛散を防止するため、部分的に切削する。

- 層間接着力が低下するため、浮き石等をスイーパーなどで丁寧に取り除く。

- 特殊改質アスファルト乳剤を、規定量(0.4~0.8リットル/m<sup>2</sup>)散布する。

- 薄層施工に適したアスファルトフィニッシャの使用が望ましい。
- 施工厚さは、一般的に2.5~3.0cmとする。

- 転圧は、通常のロードローラおよびタイヤローラで行う。
- 舗設時の温度低下が懸念されるため、転圧は速やかに行う。

- 起終点および舗装端部は、早期の骨材飛散が懸念されるため、小型のローラ等で入念に転圧する。

施工状況



完成状況



—お問い合わせ—

前田道路株式会社 技術本部 技術部  
〒143-8665 東京都品川区大崎1-11-3  
TEL: 03(5487)0030 FAX: 03(5487)0036  
<http://www.maedaroad.co.jp>